

県下主要スーパーチェーン業績一覧

社名（所在地） 資本金	期末店舗数 （前期比）	売上高 （前期比）	経常利益 （前期比）	決算期	備考
大黒天物産(株)（倉敷市） 16億6100万円	195 (+3)	連結2241億5000万円 (+1.2%)	89億2300万円 (+1.1%)	2022年5月	大阪、新潟、石川に計3店を出店し、岡山（2店）、広島、奈良で改装を計4店実施。新規出店と物価上昇を背景としたディスカウントシフトで前期の巣ごもり需要からの反動をカバーした
(株)ハローズ（早島町） 54億3063万円	97 (+6)	1633億7400万円 (+7.5%)	87億1300万円 (+14.9%)	2022年2月	広島（3店）、岡山（2店）、兵庫の計6店を出店、岡山（2店）、広島の計3店を改装。巣ごもり需要が減速する中、自社会員カードのポイント優遇、PB商品のシェアアップなどで堅調維持
(株)天満屋ストア（岡山市） 36億9750万円	51 (+1)	連結671億2700万円※1 (▲3.4%)	24億5600万円 (+3.0%)	2022年2月	天満屋倉敷店に食品売り場倉敷食彩館をオープン。岡山（3店）、広島の計4店を改装。引き続きGMSで休業・時短営業があったほか、食品を中心に巣ごもり需要がやや減速。
(株)マムハートホールディングス（津山市） 1000万円	46 (-2)	SM3社合計469億5700万円 (▲3.3%)	同10億6600万円 (▲28.9%)	2022年2月	マルイ、エスマート、わたなべ生鮮館を展開。岡山、鳥取の計2店を閉店し、岡山（3店）、鳥取の計4店を改装。閉店、改装工事の影響で前期を割った
(株)仁科百貨店（倉敷市） 3000万円	26 (±0)	291億7317万円 (▲1.2%)	4億8910万円 (▲17.1%)	2022年2月	西原店、三門店を改装。コロナ前との比較では依然堅調ながら、内食を中心とした巣ごもり需要の原則で反動で減収。燃料・電気料金の上昇などでコストが増加
生活（協）おかやまコープ（岡山市） 100億4131万円※2	11 (±0)	店舗事業128億6257万円 (+3.2%)	同31億2646万円 (+2.0%)	2022年3月	総事業収入は451億5332万円（前期比1.0%増）、宅配302億8205万円（同0.1%増）。巣ごもり需要効果を維持。客単価も上昇した

※1 営業収益 ※2 出資金